



アイルランドと EU	.....	一三三	小久保康之
— 歴史的展開とリスボン条約の批准 —			
欧州統合過程と国民投票	.....	一三九	吉武信彦
— デンマークの事例を中心として —			
単極システムと双極システムにおける国際公共財の需給関係	.....	一五九	石井貫太郎
— クールノー均衝分析によるネオ・リアリズム解釈とその課題 —			
多様性と統合の EU 環境政策	.....	一七九	和達容子
— EU・加盟国関係を中心に見た試論 —			
EU 文民的安全保障政策の成立と発展	.....	一三〇三	小林正英
ウクライナの EU・NATO 加盟問題	.....	一三九	東野篤子
裁量的政策調整と共同体方式の間の理論・実証上の差異に関する批判的考察	.....	一三九	井上淳
航空自由化と政策アイデア	.....	一四一	河越真帆
— EC における「規制緩和なき自由化」アイデアの受容過程 —			
NATO・EU 協力の新たな課題	.....	一四五	鶴岡路人
— 棲み分けから協働へ —			
欧州統合史における多国間外交の経験蓄積とサミット誕生の歴史	.....	一五二	鈴木均
— 日 EC 貿易摩擦交渉を事例として —			
西ドイツと EEC / EURATOM の形成	.....	一五二	金子新
— 「欧州」と「大西洋」の路線対立、一九五四—一九五七 —			
フランス国際関係史「学派」と理論をめぐる問題	.....	一五九	宮下雄一郎

EU 対外関係における文化	……………	一	五九	譲原瑞枝
— 対地中海諸国政策を中心に —				
The EU and East Asia and ASEM	……………	一	五九	GILSON, Julie
Progress and Limitations of European Foreign and Security Governance	……………	一	六三	KIRCHNER, Emil J.
Emerging Japan and Competing Print Market:	……………	一	六〇	YAMAMOTO, Nobuto
Japan's Shadow in the 1930s Dutch Indies				
現象と文法	……………	二	一	荒畑靖宏
— ハイデガーとワイトゲンシュタイン —				
生活史の「個性」と「時代的文脈」	……………	二	二五	有末賢
『平生鈔三郎日記』にみる大正期一実業家の時代精神	……………	二	三五	安西敏三
英国における文化統治の手段としての公共サービス放送の形成	……………	二	八三	飯塚浩一
対幻想の含意	……………	二	一〇七	石川晃司
「コミュニティ」の多様化とコミュニティ・メディア	……………	二	三三	大石裕
第一次世界大戦と日本陸軍	……………	二	一七	片山杜秀
— 物量戦としての青島戦役 —				
クローチエにおける「文学」概念の形成（一九三五年から一九四一年）	……………	二	二七	倉科岳志
共同抵当権の「三つのルール」、その相互関係の解明	……………	二	二九	斎藤和夫
— 民法三九二条論 —				
原子化・私化・個人化	……………	二	三三	澤井敦
— 社会不安をめぐる三つの概念 —				

越境的社会関係資本の創出のための外国人住民支援	二二九	塩原良和
— 社会的包摂としての多文化共生に向けた試論 —		
カルヴァンの為政者観	二三七	田上雅徳
リュシアン・ジヨームのリベラリズム論とその現代的射程	二三七	堤林 剣
— コンスタン論を手掛かりとして —		
「アウトサイダー・アート」論考	二三五	西野真季
— 「天才の民主化」の理想と現実 —		
民主的ガバナンス論への道程	二四五	萩原能久
ダーレンドルフの「制度的」自由主義	二四九	檜山雅人
一六世紀イングランドにおけるナショナリズムの萌芽	二四一	深澤民司
— ライア・グリーンフェルドの研究をめぐる一考察 —		
住民訴訟の審理に関する一考察	二五三	藤原淳一郎
— 砂川政教分離最高裁判決を中心として —		
ヴァイマル・バウハウスにおける音楽教師ゲルトルト・グルノウ	二五五	真壁宏幹
— 「アメリカ的なもの」と「インド的なもの」のあいだで —		
心情倫理と責任倫理の「相補性[Ergänzung]」	二六三	柳父 圀 近
— 『職業としての政治』の思想史的背景にふれて —		
欧州統合過程とナショナルな政党政治	二六三	吉田 徹
— 『欧州懐疑政党』を中心に —		
福沢諭吉の憲法論	三	小川原正道
— 明治憲法観を中心に —		

在奉天総領事 小池張造	三	井上勇一
— 在奉天総領事がみた満州問題 —		
「国際法の完全性」(一)	四	明石欽司
— その理論史と概念整理 —		
福沢諭吉の天皇論	四	小川原正道
— 構造・展開・反響 —		
戦争と音楽	五	池井優
— 明治維新から「大東亜戦争」まで —		
福沢諭吉における「外交」	五	小川原正道
国際法の完全性(二)	五	明石欽司
— その理論史と概念整理 —		
近代日本における社会学の草創と福沢諭吉の社会学思想の再考察	六	川合隆男
ハワード・シテイズンシップ・テストからラッド・シテイズンシップ・テストへ	六	関根政美
— 多文化社会オーストラリアのガバナンス —		
生と死のライフヒストリー	六	有末賢
— 相互・循環・一回性 —		
現代日本の世論とメディア政治	六	大石裕
「アルスター植民」再考	六	松井清
— スコットランド系入植者のエスニシティ —		
情報社会と忘却権	六	伊藤英一
— 忘れることを忘れたネット上の記憶 —		

産業人類学、都市人類学、超国家の人類学をつなぐもの	六二九	和崎春日
— 滞日アフリカ人の生活動態から十時嚴周の「混乱と境界侵犯の人類学」を見る —		
水都再生への序論	六三五	田中重好
諏訪信仰の太陰的要素序説	六二九	福島邦夫
クワメ・ンクルマの政治思想	六二七	阿久津昌三
— 『わが祖国への自伝』を読む —		
中国都市の「世界都市化」をめぐる一考察	六三三	熊田俊郎
— 北京、上海、および広州を事例として —		
多文化社会の福祉コミュニティ形成	六三一	三本松政之
性役割分業意識の非対称な変容	六三九	吉村治正
— 測定誤差の事例報告 —		
中国の都市と農村における「社区建設」	六四三	南裕子
— 中国におけるコミュニティ形成の文脈 —		
都市改造に伴う立ち退き住民の生活変容と公共領域	六四一	李国慶
労働から見る中国社会の変容	六五〇	中村良二
おしゃべりなロングテールの時代	六五〇	熊坂賢次
— 東京ガールズのネットコミュニティ解析 —		
階層的地位と結婚プレミアム・ペナルティ	六五四	山崎由佳
「国際法の完全性」(三)	七一	明石欽司
— その理論史と概念整理 —		

共和党穩健派の思想と動向	.....	七	三	西川	賢
——一九五二年の予備選挙を中心として——	.....				
「国際法の完全性」(四・完)	.....	八	一	明石	欽司
——その理論史と概念整理——	.....				
分析的政治哲学の系譜論	.....	八	三	松元	雅和
仮釈放要件と許可基準の再検討	.....	九	三	太田	達也
——「改悛の状」の判断基準と構造——	.....				
共謀共同正犯における共謀概念	.....	九	八	亀井源	太郎
ヨーロッパにおける受刑者移送制度の動向	.....	九	二	フィリップ・オステン	
——ドイツの状況を手がかりに——	.....				
量的過剰について	.....	九	一	佐藤	拓磨
最近の刑法学の動向をめぐる一考察	.....	九	二	井田	良
裁判員裁判における評決について	.....	九	三	平良木	登規男
ドイツにおける青少年社会環境と青少年保護	.....	九	六	安部	哲夫
保安監置制度の正当化について	.....	九	二	飯島	暢
——法的強制としての自由の剝奪の可能性?——	.....				
現代取引社会における詐欺罪の罪質と処罰範囲	.....	九	三	上田	正和
建造物損壊罪をめぐる問題について	.....	九	五	内海	朋子
商品先物取引と詐欺罪	.....	九	七	大山	徹
スウェーデン「拘禁法」の制定について	.....	九	四	坂田	仁

刑法一七五条及び児童ポルノ禁止法と表現の自由	九四七	島岡まな
— フランス刑法から学ぶこと —		
フランスにおける行刑法の制定と刑罰の調整の理念と現実	九四一	末道康之
スポーツを対象とする違法賭博	九五七	谷岡一郎
— ブッキング・ビジネスの現状および合法化への問題点 —		
日本国外における犯罪の被害者等に対する支援について	九五五	富田信穂
被害者補償制度の世界的動向	九五九	諸澤英道
— 「損害賠償補填型」から「被害回復型」への転換 —		
国民参与裁判制度施行三年の評価と展望	九六三	趙均錫
韓国における修復的司法の発展と現状	九六五	金容世
Is Restorative Justice a Viable Option in Crimes of Violence	九七〇	Ezzat A. Fattah
国際政治におけるガバナンス	一一一	田所昌幸
— 「棲み分けによる共存」の意義と限界 —		
「立法者 [legislateur]」と「正す者 [justicier]」：盛期中世フランスにおける上訴制と王権	一一五	藪本将典
— ルイ九世とポワトゥー伯アルフォンスの司法改革令を中心に —		
在奉天総領事 加藤本四郎	一五	井上勇一
— 在奉天総領事のみた満州問題 —		
片岡健吉における信仰と政治	一一	小川原正道
通信法制と放送法制の融合	一三	青木淳一
— その限界と到達点 —		

債権者代位権擁護論	……………	十二	三	池田真朗
— 債権法改正における立法論のあり方と学説の作った虚像 —				
不動産投資法人（J-REIT）のガバナンスにまつわる実務上の諸問題に関する一考察	……………	十二	二九	石橋源也
民事司法改革の実現を目指して	……………	十二	四五	今井和男
— 債務名義の執行力強化 —				
ニーチェの永遠回帰論とマラー	……………	十二	一九	岩下真好
— 交響曲第三番の歌詞をめぐって —				
司法研修所の要件事実論に代わる「新しい要件事実論」の構築のために	……………	十二	二三	加賀山茂
マンハイムにおける「革命的意識」について	……………	十二	二四	蔭山宏
— 『イデオロギーとユートピア』を中心に —				
借地上建物への抵当権設定における担保価値維持義務	……………	十二	二六	片山直也
— 最高裁第一小法廷平成二二年九月九日判決を契機として —				
株式会社の参入拡大と遵法・統治・説明責任の実践	……………	十二	三三	加藤修
共有著作権の権利処理に関する一考察	……………	十二	三五	金井高志
— 共同著作物と共有著作物の差異の明確化のために —				
契約における錯誤と情報提供義務	……………	十二	三七	鹿野菜穂子
— 錯誤規定をめぐる近時の潮流（PECL、PICC、DCFR）と日本法 —				
妨害排除請求権に基づく原状回復の範囲	……………	十二	四五	河原格
二重売買と危険負担	……………	十二	四五	北居功
— 危険負担制度と契約解除制度の競合 —				
平成二三年改正特許法における冒認出願・共同出願違反と真の権利者の救済	……………	十二	四三	君嶋祐子

イギリス倒産法における管財機関の生成と信託理論	……………	十二	五五	工藤敏隆
フルペイアウト方式によるファイナンス・リース契約における倒産解除特約の効力	……………	十二	五九	櫻井一成
— 最高裁平成二〇年一二月一六日第三小法廷判決(民集六二卷一〇号二五六一頁) について —	……………	十二	五五	島田真琴
イギリスにおける金銭支払を命ずる判決の強制執行	……………	十二	六一	庄司克宏
EU基本条約の自由移動規定と国際私法	……………	十二	六一	庄司克宏
— EU法の視点からの一考察 —	……………	十二	六一	庄司克宏
ドイツ管理共同制における家財道具の物上代位規定	……………	十二	三三	水津太郎
— 生成・展開の構造と基礎 —	……………	十二	三三	水津太郎
組合と権利能力なき社団における共有論の可能性	……………	十二	七七	平野裕之
— 財産群法理と団体的拘束原理 —	……………	十二	七七	平野裕之
抵当権の追及効と対抗問題の射程	……………	十二	七一	松尾弘
留置権の「対抗可能性」に関する一考察	……………	十二	七五	武川幸嗣
連結点の基礎となる事実と弁論主義	……………	十二	八一	山田恒久
判例研究の目的	……………	十二	八九	六車明
政府系ファンドと行動規範をめぐる諸問題	……………	十二	六一	渡井理佳子
国際貸付契約書に見る担保手法についての一考察	……………	十二	六八	山根真文
— 主として英米法の担保制度を通して —	……………	十二	六八	山根真文
トーマス・マンの『非政治的人間の考察』について	……………	十二	六〇	坂口尚史
— 「正義と真理に反して」の章を中心に —	……………	十二	六〇	坂口尚史
New Religions in Japan: ……………	……………	十二	三三	ASAI, Shizuo
A Case Study of Oyamanezunomikoto-Shinjikyokai	……………	十二	三三	ASAI, Shizuo

資料

「オーストラリア二〇〇六年家族法制改革評価報告書（要約版）」（オーストラリア連邦政府・オーストラリア家族問題研究所、二〇〇九年十二月）（翻訳）	三	犬伏由子／監修 駒村絢子／訳
充当資産（patrimoine d'affectation）の承認による個人事業者の保護（翻訳）	四	マリィエレヌ・モンセリエッボン 片山直也／訳
— フランスにおける有限責任個人事業者（EIRL）に関する二〇一〇年六月一五立法 —	四	
ドイツ連邦通常裁判所二〇一〇年六月二五日判決（Putz 事件）	五	神馬 幸 一
— 人工的栄養補給処置の中止に関する新しい判例動向 —	五	
米国宇宙法の発展と三つの長期的課題（翻訳）	八	ジョアンヌ・イレーネ・ガブリノヴィッツ 青木節子／訳
— 最初の半世紀を振り返って —	八	
第一回総選挙・静岡県第五区における選挙戦	十一	上野 利 三
— 慶應義塾出身波多野承五郎を中心に —	十一	

判例研究

〔商法〕	.....	商法研究会
五一一 反対株主による株式買取請求における公正な価格（日興コーディアル株式買取価格決定事件）	三	岡 田 昌 也
五一二 株式買取請求における「公正な価格」	四	長 畑 周 史

五二三 平成一八年改正前証券取引法一五八条の、有価証券の売買のため偽計を用いたこと、および有価証券の相場の変動を図る目的で偽計を用いたことに当たるとされた事例—ペイントハウス事件—

五二四 株主総会の決議を経ずに支払われた役員報酬について事後に株主総会の決議を経た場合における当該役員報酬の支払の効力

五二五 国際海上物品運送法二〇条の二第一項にいう「荷受人」の意義—ジヤイアントステップ号事件

五一六 共同相続株式の権利行使者の指定と事前協議の可否

五一七 株主総会の否決決議の取消しを求める訴えが却下され、可決決議の取消しを求める訴えの請求が棄却された事例 (H O Y A 事件)

〔最高裁判事例研究〕

四二六 平二二一〔民集六四卷四号一二三五頁〕

四二七 平二二二〔民集六四卷一号一頁〕

四二八 平二〇五〔民集六二卷一〇号二五六一頁〕

〔下級審民事事例研究〕

62 特定の動産引渡請求権に基づき、当該動産のみの引渡しを求める旨明示した上、債務者が第三債務者である銀行に対して有する貸金庫の内容物引渡請求権を差し押さえることの可否

東京高裁平成二一年四月三〇日決定 (平成二一年ラ第五七〇号)、動産引渡請求権差押命令申立却下決定に対する執行抗告事件、判時二〇五三号四三頁、金法一八八七号一四〇頁

五二三 杉田 貴洋

七三三 黄 清 溪

八〇三 笹岡 愛美

十 八 宮 島 司

十二 五 吉 川 信 將

三二四 山本 和彦

五一四 三木 浩一

七 七 中島 弘雅

民事訴訟法研究会

四二二 工藤 敏隆

63	訴え提起前の証拠保全としてなされた診療録等の検証物提示命令の申立てに対し、 黙示の却下決定により検証期日が終了されたものとし、検証期日終了後になされ た即時抗告を不適法と判断した事例 仙台高裁平成二二年六月二三日第三民事部決定（仙台高裁平成二二年（ラ）第六二 号） 一審仙台地裁平成二二年三月一九日決定、検証物提示命令申立却下決定に対する 即時抗告事件、金融・商事判例一三五六号二三頁	八三四	三木浩一
----	--	-----	------

〔民集未登載最高裁判事例研究〕……………民事訴訟法研究会

27	名古屋市議会の会派が市から交付された政務調査費を所属議員に支出する際に各 議員から諸経費と使途基準中の経費の項目等との対応関係を示す文書として提出 を受けた報告書及びこれに添付された領収書が民法二二〇条四号ニ所定の「専 ら文書の所持者の利用に供するための文書」に当たるとされた事例 文書提出命令に対する抗告棄却決定に対する許可抗告事件（平成二二年四月一二 日最高裁第二小法廷決定）裁判所時報一五〇六号一頁、判例時報二〇七八号三頁 痴漢の虚偽申告を理由とするXのYに対する損害賠償請求訴訟において、目撃者 が見付からない場合に、これに準ずる立場にある者の証人尋問を実施せず、Yの 供述の信用性を肯定して、Xが痴漢行為をしたと認めた原審の判断に違法がある とされた事例 損害賠償請求事件 最高裁平一九年（受）第一八七八号、平二〇年一月七日第二小 法廷判決（裁判集民事二二九号一五一頁、判例時報二〇三一号一四頁）判例タイ ムズ一二八八号五三頁	十一〇	河村好彦
28		十二七	三上威彦

特別記事

田中俊郎教授略歴・主要業績	一	五三
蔭山宏教授略歴・主要業績	二	六七
金忠植君学位請求論文審査報告	三	一六

小林正英君学位請求論文審査報告	三
植田麻記子君学位請求論文審査報告	四
藤森智子君学位請求論文審査報告	四
榎本桃也君学位請求論文審査報告	四
河越真帆君学位請求論文審査報告	五
大海渡桂子君学位請求論文審査報告	五
横大道聡君学位請求論文審査報告	五
十時巖周先生略歴・主要著作目録	六
慶應義塾大学法学部法学研究所講演会	六
「債権法改正の問題点—中間論点整理の評価と今後の展望—」	七
小田義幸君学位請求論文審査報告	七
崔慶原君学位請求論文審査報告	七
金文静君学位請求論文審査報告	七
宮澤浩一先生略歴・主要業績	九
米津昭子先生追悼記事	九
川上洋平君学位請求論文審査報告	十
星野昌裕君学位請求論文審査報告	十
平成二三年度慶應法学会シンポジウム「ガバナンス概念をめぐって」	十一
内山正熊先生追悼記事	十一
斎藤和夫教授略歴・主要業績	十二

追悼文

宮澤浩一先生追悼の辞  
宮澤浩一先生追悼の辞  
宮澤浩一先生追悼の辞

九 一 関 建 植  
九 五 ハンス・ハイナー・キューネ  
九 二 ヤン・グロテア